

荻田港クルーズ大盛況！ 水素船体感する次世代の船旅



5月17日に「水素船で体感する、次世代の船旅！荻田港クルーズ」が開催されました。当日は、水素とバイオディーゼル燃料を活用したハイブリット型旅客船「HANARIA（ハナリア）」が航行。小さな子ども連れの家族など幅広い世代の人が参加しました。次世代エネルギーで走る水素船に乗船できる貴重な機会とあって、参加者は静かでスムーズな運航や、普段見ることのできない荻田町の景色を満喫していました。



荻田町を一望！ 高さ 40 メートルの特別体験



荻田港新松山地区にある荻田バイオマスエナジー株式会社のご協力のもと、発電所の高所を見学しました。同社は木質ペレット・木質チップ・パーム椰子殻といった植物資源を燃料とし、環境に優しいバイオマス発電を行っています。この取り組みは持続可能なエネルギー社会の実現に大きく貢献しています。見学では、高さ約 40 メートルという普段は立ち入ることができない場所から荻田町の景色を望むことができ、新たな荻田町の魅力を発見する素晴らしい機会となりました。



行橋ライオンズクラブから補聴器寄贈 住民サービス向上を支援

行橋ライオンズクラブから、5 台の補聴器が寄贈されました。6 月 4 日に、春本紀恵会長、岡直幸幹事らが役場を訪れ、町長室で贈呈式が行われました。町長は「温かいご支援に深く感謝いたします。住民サービス向上に役立ててまいります」と感謝の言葉を述べました。寄贈された補聴器は、荻田町社会福祉協議会、荻田町地域包括支援センター（かんだ・おぼせ・しらかわ）、福祉課などで使用する予定です。



「緑の街頭募金」で緑化推進！ 持続可能な未来のため募金を呼びかけ

5 月 10 日、サンリブ荻田店にて、「緑の街頭募金」が行われました。地球温暖化防止や町の緑化など SDGs の取り組みを推進するため、緑化推進委員である各区の区長などが出入口前に立ち、募金の呼びかけを行いました。また、募金をしていただいた方には、ギンバイカ等の苗木を手渡し、家庭から始められる緑化を呼びかけました。今回の募金にご協力頂いた町民の皆さま、ご協力ありがとうございました。



まちの話題

KANDA TOWN TOPICS

白川小学校が新記録達成！ 「ぎゅっと」玉入れ選手権で熱戦

KBC の地域情報発信企画「ふるさと Wish」の人気コーナー「ぎゅっと」の学校対抗！玉入れ選手権で、白川小学校が過去最高記録を更新しました。100 個の玉入れ時間を競うこのコーナーで、白熱した戦いを繰り広げた子どもたちの記録は、番組史上最速の 33 秒。見事なチームワークで番組の記録を更新しました。笑顔と歓声があふれる会場で、白川小学校の児童たちは、新記録達成の喜びを分かち合いました。



南原小学校で「人権の花」運動 ひまわりを通して育む、思いやりの心

4 月 30 日、南原小学校の 3 年生に人権擁護委員の皆さんから「人権の花」であるひまわりの種が寄贈されました。この「人権の花」運動は、児童たちが協力してひまわりの花を育て、思いやりの心や命を大切にすることを育てるため、毎年町内の小学校で取り組まれています。児童たちは、これから水やりや草取りなどひまわりのお世話し、秋には収穫した種と自分たちが書いた手紙と一緒に風船に結んで大空へ飛ばす予定です。



荻田中出身・森田優月さん ビーチバレーボール九州大会へ！

育徳館高校 2 年の森田優月さん（荻田中出身）が、全九州ビーチバレーボールジュニア選手権への出場を決め、その結果を町長に報告しました。森田さんは、5 月 3 日～ 4 日に開催された県大会にペアの井関さんと出場し、準優勝という素晴らしい成績を収めました。この結果を受けて、沖縄県で開催される九州大会への切符を手に入れました。森田さんは「ペアと楽しみながら、一勝に繋がたいです」と抱負を述べました。



猪獣害 集落ぐるみでの対策進める 八田山農地管理協定が侵入防止柵を設置

猪による水稻被害が深刻化する中、土地所有者と耕作者でつくる八田山農地管理協定は、今年 1 月から約 3 か月かけて地区内に侵入防止柵を設置しました。同地区では、侵入防止柵の設置や点検管理など、個人での「守り」の対策ではなく集落ぐるみでの「攻め」の対策で、被害が大きく軽減されました。代表の井上三男さんは、「猪を寄せ付けないために、集落全体での対策や当事者意識を持って取り組むことが大切だと感じた」と話しました。

